

科目	在宅看護の基本	時期	1 年次後期	単位数	1 単位	実務経験
		担当教員	山本 友里恵	時間数	20 時間	○（専任教員）
目的	地域・在宅看護実践特有の生活と健康を支える援助技術と共にケアチーム内でのコミュニケーション技術、在宅療養における療養者と家族介護者、療養環境のアセスメント及び視点を習得する。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭訪問の特徴やプロセス、必要な技術について理解できる。 2. 療養者・家族の顕在的・潜在的ニーズを理解できる。 3. 在宅療養において、療養者と家族介護者をアセスメントすることの意義と特徴が理解できる。 4. 在宅における療養環境や福祉用具の実際を知る。 5. 訪問看護師として、社会人としてマナーを意識しながら振舞うことができる。 					
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問看護技術 ① <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問・初回訪問 ・コミュニケーション ・在宅におけるアセスメント技術 ・感染予防 ・ターミナルケア 2. 訪問看護と療養環境を整えるための多職種との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備 住環境の基本とアセスメント ・生活リハビリテーション ・在宅における福祉用具 ・住宅改修 3. 身近なもので福祉用具を作ってみよう プレゼン発表 4. やってみよう、初回訪問 ① 訪問看護師としてのマナー 訪問看護導入 演習 5. やってみよう、初回訪問 ② 訪問看護師としてのマナー 訪問看護導入 演習 					
授業形態	講義、演習					
教材	ナーシング・グラフィカ 地域療養を支えるケア 地域・在宅看護論(2) メディカ出版					
評価	演習・プレゼンテーション 課題・レポート					